

#2325

奥多摩三山の一角

御前山、鋸山

実施日 二〇〇七年十月二十八日(日)

天候 晴れ

リーダー 馬場 清士

参加者 若村貴世子、斎恵美子、友近洋子、服部美千代、佐藤金治、一柳昭、大村巖、山崎富美恵、鈴木恵美子

計一〇名

コースタイム

青梅線立川駅(六時五五分)〜七時五分(奥多摩駅)八時二八分〜八時三五分(バス境橋)八時四五分(栃寄森の家)九時三〇分〜九時四〇分(登山道分岐)十時一〇分(休憩)十一時〜十一時一〇分(避難小屋)十一時四五分(御前山)十一時五九分〜十二時四五分(昼食)十字路(十二時五五分)クロノ山(十三時二五分)鞆口山(十三時五〇分)大ダワ(十四時二五分)〜十四時三〇分(鋸尾根)十四時四五分(登計峠)十六時三〇分(愛宕山)十六時四〇分(奥多摩駅)十七時五分

数日前に台風が発生し、気を揉んだが、前日に房総半島をかすめて通過し、山行当日は快晴となった。奥多摩駅に下り立つと、何時もの光景だが、中高年のハイカー(我々も含めて)でいっぱい、臨時バスも出る有様であった。

境橋でバスを降り、昨日の台風で落ちた木の葉を踏みながら、舗装された林道を暫く行くと、栃寄集落であり、東京都の栃寄森の家があり、立派な



建物で、宿泊設備もあり、森林体験が出来るそうだ。なおも林道を行き、予定のコースに入るところで登山道が通行禁止となっている。案内板に従って、ガレた沢筋を横切り登山道に入る。急登の連続で高度を稼ぎ活動の広場で休憩を取る。このあたりは森林体験の森で、縦横

に体験道が走ってややこしいかぎりだ。高度を上げたせいか、ちらほら紅葉が目につくようになってきた。背後に石尾根の稜線が覗えるようになると、御前山直下の避難小屋に出た、一登りで山頂だ。午前十一時五九分に御前山に着いた。



南に展望が開けた所で富士山を眺めて、山頂で昼食を摂った。山頂はカラマツに囲まれ、鷹ノ巣山や六ツ石山の石尾根が望める。周囲は、カラマツをはじめ紅葉が美しい。山頂から急坂を下り、登り返してクロノ尾山を越え鞆口山に出る。奥多摩町をつなぐ車道に出ると大ダワで、鋸山の急登となる。文字通り大小の岩のアップダウンと、岩交じりの痩せ尾根を、鉄ハシゴで下ったりしながらひたすら降りると、登計峠の車道に出る。目の前の愛宕山に登り、愛宕神社の急な石段を一八〇数段下り終えると青梅街道にでる。昭和橋を渡り奥多摩駅に十七時五分に到着、駅前の飲食店での反省会も盛会でした。日暮れの早い時期に歩行時間も長く、参加された皆さんお疲れさまでした。



(記)馬場 清士